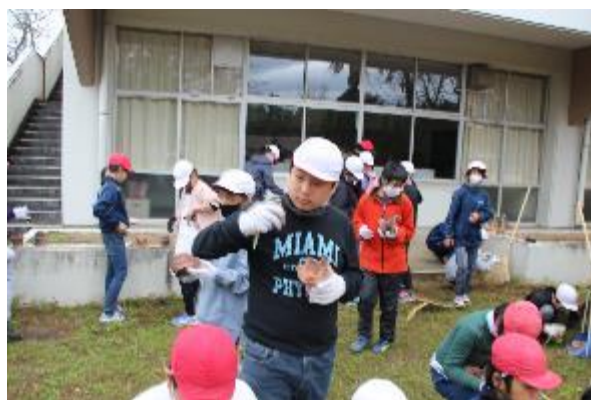


【第6学年 縄文時代の文化に触れる】

6年生が社会科で縄文時代の文化について学習しました。その文化に触れるため、「縄文土器づくり」を行いました。野焼きの日に向けて、陶芸用の粘土を使って土器をつくりました。土台に細く伸ばした粘土を積み上げ、つなぎ目が滑らかになるようにするなど苦労しましたが、縄目の文様をつけると、社会科の教科書で見た「縄文土器」のように仕上がりました。

2週間乾燥させて、野焼きを行いました。前日から野焼きの場所を整備して当日を迎えました。児童たちは炎の中に作った土器を入れ、焼き上がりを待ちました。中には土器が欠けてしまう児童もいましたが、それもまた「味」が出ていて、どの土器もよく焼きあがっていました。焼きあがった自分の土器を見て、嬉しそうでした。



安全に気を付けながら、野焼きがスタートしました。前日から落ち葉を集めるなど整備したり薪を準備したりと、友達同士で協力しながら野焼きを行うことができました。



土器と一緒に「土鈴づくり」も行いました。焼きあがった後、新聞紙の灰を一生懸命にストローで吹いていました。いろいろな飾りつけをして、オリジナルの土鈴を作ることができました。



出来上がった土鈴は、振ると音がします。鈴の音を聴いて、とても嬉しそうにしていました。

完成した土器や土鈴をお互いに笑顔で見せ合っていた6年生が印象的でした。

野焼きのために、消防署の方に安全確認や助言をいただきました。また、学校周辺の皆様にも御理解・御協力をいただきました。有難うございました。